

事業名		西河原映画会				
予算	歳入予算(円)	歳入実績(円)	歳出予算(円)	歳出実績(円)		
平成3年度			使用料及び賃借料 689,000	使用料及び賃借料 633,498		
令和4年度			使用料及び賃借料 689,000	使用料及び賃借料 491,498		
事業の位置付け	根拠法	社会教育法、狛江市立公民館条例、狛江市立公民館条例施行規則				
	市の基本計画	狛江市前期基本計画 まちの姿6「生涯を通して学び、歴史が身近に感じられるまち」 施策6-①「地域における学びの充実」方向性2「生涯を通じた学びの実現」 第3期狛江市教育振興基本計画 基本方針(4)生涯を通じた学びの充実 ①学びの環境づくり「地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。」				
事業目的	市民に芸術文化を享受する機会を提供する		持続可能な開発目標 (SDGs)			
事業内容	開催頻度	年間5回(奇数月に1回、土曜日開催) ※3月はいべんと西河原・中央公民館のつどい合同開催により中止				
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	実施対象	市民	参加者数	延303人		
事業評価 ＜評価視点＞	評価項目	評価理由			評価	
	＜周知＞ 市民に周知されているか	約2週間前に広報こまえへ掲載し、チラシ・ポスターを公民館、地域・地区センターに配架し、またSNS(ツイッター・フェイスブック)でも周知している。上映作品によってばらつきはあるが、コロナ禍でも50名以上の来場者数は確保できている。			公民館 B	公運審 A
					全体 A	
	＜環境＞ 事業の実施に伴い、人員、設備、衛生面等は適切であるか	感染症対策として、2名体制で受付を行い、消毒、検温、整理券の回収(氏名と連絡先を記載)を行った。これらの取り組みにより、新型コロナの感染者を出さずに、トラブルなく事業を終えることができた。			公民館 B	公運審 B
					全体 B	
	＜満足度＞ 参加者にとって満足のいく内容であったか 利用者のニーズを反映できているか	来場者にアンケートをとっていないため、正確な満足度が分からない。ただ、参加者の中には、帰りに「とても面白かった」「次回も楽しみにしている」といった声をいただいたこともある。			公民館 C	公運審 C
			全体 C			
＜達成度＞ 公民館が目的を達成できたか 市の課題解決に役立っているか	映画を選定する際は、娯楽としての面白さだけではなく社会教育の視点に立って、家族の大切さやLGBT等の社会的なテーマに沿った作品も選定するよう意識している。			公民館 B	公運審 B	
				全体 B		
＜芸術文化＞ 芸術文化に触れるきっかけとなったか	「次回の映画会はいつか」と問い合わせを受けることもよくあり、来場者のリピーターもいることから、定期的に芸術文化に触れる機会を提供できていると言える。			公民館 B	公運審 A	
				全体 A		
今後の課題	▼＜周知＞については、目標となる参加者数を設定し、より客観的な評価が必要である。 ▼＜満足度＞についても、来場者へアンケートを実施し、より客観的な評価が必要である。 ▼費用対効果の観点から、令和5年度から、図書館流通センターが実施している「みんなでシネマ」(年間6万円の費用で、西河原図書室の映画作品を上映できる)を活用することとなった。従来の質を保ちながら、芸術文化の機会を市民に提供できるよう注力する必要がある。 ▼上映する目的や意図を公民館として検討してから、作品の選定に取り組む必要がある。					
総合評価	▼本事業を通じて、市民に対して芸術文化に触れる機会を定期的に提供できていると言える。 ▼参加者に、純粹に映画を楽しんでもらうという視点を大切にいただきたい。 ▼参加者に何を感じてほしいのか等の目的や意図を公民館として設定してから、上映作品の選定に取り組む視点も大切にいただきたい。 ▼＜周知＞に係る客観的な評価を行うため、参加者数の目標値を設定していただき、また＜満足度＞についてもアンケートを導入し、より客観的な評価ができるような体制づくりに取り組んでいただきたい。					